

「一般質問しないのはサボタージュではないか」

7月27日に開かれた議員勉強会で、町民から町議会議長に寄せられた質問が、議員全員に紹介されました。一般質問者が2人のみだったことについては、内田議員も南知多民報の6月議会報告で問題にし、取り上げていました。元議長の返信にあるように、今後すべての議員が、より良い町づくりのために、議会での一般質問を活発にし、議員の役割を果たしてほしいと思います。

【町議会議長への町民からの質問】

2023.7.01

<件名>
一般質問について

<内容>
南知多町議会議長
石垣 菊蔵 様

標記の件、近隣自治体議会に比較して、毎回の議会における一般質問する議員が極めて少数である。直近6月定例会では2名である。この状況は、正に、異常であり、ある面では、サボタージュと受け取られかねないと思う。

そこで、下記伺いたい。

- ① この状況への見解は？
- ② この状況への打開策実行意思は？

メールにて回答ください。
宜しくお願い致します。

【町議会前議長の返信】

いただきましたメールについてご回答いたします。

町議会の役割の1つに、町執行部に対する監視があると言われてしています。その役割を果たすための機会の1つが議場での一般質問となりますので、町長を始めとした執行部に対し、各種様々な質問や意見をぶつけ回答を求める場であると考えております。

また、知多地区では東海市を除く4市、町では本町以外の4町が令和5年度執行の地方統一選挙において議員の選挙が行われておりますので、それぞれにまちを良くしようとの決意を持って議会議員に立候補されたことと思います。このため美浜町を始めとした他の市町においては、当選後初の議会となる6月定例会での一般質問が多かった理由だと想像しております。一般質問とは、議員活動の根幹を成すものであって、日頃の研究や調査、地域課題を学習し、その成果を発揮する晴れの舞台とも言えますので、議員の質問の機会は可能な限り求めることが議会の本来のあるべき姿であろうとの見解を持っております。

今後の南知多町議会につきましては、7月5日に開催された令和5年度第5回臨時会において、新たに議長・副議長、各種常任委員会の選任が行われ、新しい南知多町議会としてスタートいたしました。今回いただきましたご意見につきましては、私から全議員にもお伝えいたします。今後は私も一議員となりましたので、折に触れ一般質問をして参ります。今回のご質問につきましては一般質問に特化した内容でございますので、このような回答となりますが、議員の役割の1つとしての一般質問だけではなく、住民や各区を始めとした各種団体からの要望を受けることも重要な責務であると考えますので、ご理解をいただきますとともに、今後も南知多町議会へのご支援ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

南知多町議会前議長 石垣 菊蔵